R6 地域こん談会まとめ

案件番号	自治会名	こん談案件	回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
1	穂田野町自治会	穂田野町の防災対策の強化について 消防団のポンプ積載車が不足している。現在、小型ポンプは各班に1台あり、セル式が配備されるなど充実してきているが、積載車が3台しかなく、いざ火災発生した時には個人の軽トラックを使用しなければならない状況である。一刻も早く、積載車を一台配備していただきたい。また亀岡市全体の積載車の不足状況と今後の配備計画についてお伺いしたい。	小型ポンプ積載車は、迅速に活動するために欠かすことができない装備であると認識しています。 現在、亀岡市消防団の配備状況については、小型ポンプは72台、小型ポンプ積載車は51台、手引き台車は21台を配備しており、各分団の管轄区域面積や班編成数を考慮しつつ、各分団に2台若しくは3台を配備しています。 穂田野分団については、3部4班で構成されており、太田区にポンプ格納庫がある2部3班には、手引き台車を配備している状況です。 まずは3台の積載車を配備していくつもりです。配備から概ね20年経過した小型ポンプ積載車を対象に順次更新し、今後は市消防団全体の資機材のバランスをみながら配置をしていきたいと考えます。	総務部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 21台の不足分はどのようにカバーしていくのか。	実際、積載車の台数しかポンプを載せられないと思いますが、まずは分団で工夫をしていただき、今後の更新については全体のバランスを見て判断します。	市長 (総務部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 穂田野に手引き台車分の積載車1台が配備されるのはいつになるのか。	積載車を格納する場所がありますか。	市長 (総務部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 太田区にある格納庫に収容されている手引き台車を出せば十分に格納できるスペースはある。	早い段階で1台は入れられるように何とか調整していきたいと考えています。	市長 (総務部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。

R6 地域こん談会まとめ

2	<p>菫田野町自治会</p>	<p>菫田野町の賑わいづくりについて 大石元自治会長のときから、既存集落まちづくり区域指定制度の指定を受けたりと、まちづくりの土台作りを長年してきている状況である。空き家の調査もしているが、中々使える空き家であるかどうかの判断は難しい。転入希望の方はたくさんいるが、空き家が足りていないと市からは聞いており、菫田野町も少ないとは考えている。その中で、何とか町を賑やかにしていきたいと考えているが、妙案が浮かばない。「こんなまちづくりをしませんか」といった提案や「こういう補助事業を使えばこんなことができますか」といった提案など、亀岡市と地元が協働したまちづくりができれば面白いと思う。国道372号線があり、カフェなどもできてきているが、湯ノ花温泉と一緒にまちづくりをしてくような話に繋がらない。亀岡市の今後のまちづくり計画と合わせて所見をお伺いしたい。</p>	<p>菫田野町については、全域が市街化調整区域であり、無秩序な市街地の拡大を防ぎ、豊かな自然環境や宮農環境を保全するため、開発行為や建築行為が一定制限されています。 しかし本市では、市街化調整区域においても、京都縦貫自動車道のインターチェンジからおおむね500m以内の区域については、広域交通網を活かした流通のポテンシャルの高い条件であることから、一定の都市的土地利用が可能となるよう地区計画運用指針を定めており、既に亀岡インターチェンジ周辺では具体的に地区計画を活用した土地区画整理事業として工業系の土地利用を検討されている地区もあります。 菫田野町においては、地域の活性化や地域コミュニティの維持を図るため、令和3年3月に、既存集落まちづくり区域指定を行っています。 これにより、本来農家用住宅などしか認められなかった土地でも地区外の人が自己用住宅の建築ができ、移住が可能となるほか、一定規模の店舗、飲食店、農家レストランやアトリエなどの新築、住宅から簡易宿所への用途変更などが可能となっており、地域の新たな賑わい創出が期待できる制度として運用しています。 市街化調整区域という一定のしぼりではありますが、今後、既存集落まちづくり区域指定制度を活用いただくことで、少しでも菫田野町の賑わいづくりに寄与することができればと考えています。</p>	<p>まちづくり推進部長</p>	<p>⑥その他</p>	<p>開発等の計画相談があった場合は適切に対応します。</p>
		<p>【質問等】 既存集落は活用しているが、湯ノ花温泉を中心に何とか菫田野町を活性化したい。空き家の促進についても、住民の理解を得ることが中々難しい状況である。市のアドバイス・バックアップをもっと得ることはできないか。まちづくりをしていくヒントをもっといただけたら動きやすいと思う。</p>	<p>移住定住に関する補助金として、地域受入体制整備促進補助金というものもあり、移住者に対しては移住促進住宅整備事業として、空き家の改修に対する補助金もあります。起業する方に対しても補助金があり、空き家バンクに登録されている空き家の所有者に対しては家財の撤去費用に対する補助金もあります。こうした制度を活用していただきたいと思います。詳細については市のHPに記載しており、建築住宅課への問い合わせでも対応可能です。</p>	<p>まちづくり推進部長</p>	<p>①実施</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
		<p>【質問等】 菫田野町についても移住促進特別区域の指定を受けの際に、補助金の申請ができる制度については冊子を作製したりチラシを全戸配布するなどして周知を行ってきたが、誰からも申請の声が見られない状況である。使用できそうな空き家等はいくつも見られるが、なかなか提供するという意識に繋がらない状況である。意識改革の取り組み等が必要ではないかと考えており、市と共同で行っていかないと考えているがどうか。</p>	<p>酒屋を中心にまちづくりが行われている事例もあります。意識を変えるということは難しいため、空き家を長期間持つことへのデメリットを説明するなどして、活用につなげていけばどうかと考えています。</p>	<p>市長公室長 (まちづくり推進部長)</p>	<p>⑥その他</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>

R6 地域こん談会まとめ

		<p>【質問等】 やはり賑わいづくりには商業地域が不可欠だと考えている。そのためには市街化調整区域の指定を外してもらう必要が出てくると考えるが、市としての所見は。</p>	<p>国道372号線の幹線道路沿いは簡単な商業利用も可能ですが、調整区域自体を外すことは、今までの経緯から考えても慎重な議論が必要であると考えています。</p>	<p>まちづくり推進部長</p>	<p>⑥その他</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです</p>
		<p>【質問等】 議論は大切であると思うが、先延ばしになってしまう可能性もある。特別区域を設けるなどの考えはないのか。</p>	<p>市街化調整区域は市としても外したい思いもありますが、京都府の権限なので難しい実情です。だからこそ、様々な制度を用いて活性化させていきたいと考えています。従来は当該地域に住んでいる人しか家を建てられなかったが、現在は地域外から来る人でも家を建てられるようになりました。実際にカフェや農家レストランも作れる状況になってきており、農地を活用して発展できると考えております。例えば、湯ノ花温泉のすみやの前にかつて喫茶店がありましたが、そういったものを活用して、地元の農産物を販売したり足湯やカフェを作るなど賑わい創出の場につけていけるのではないのでしょうか。特に湯ノ花温泉の周辺は観光エリアであるため開発はできるようになっています。しかし、空き家や更地が目立っている状況であるため、観光エリアとして何ができるか地域で考えていくのも一つだと思います。 私の提案ですが古民家や空き家で限定するとあまり出てこないで、住民の方が売っても良いと思う土地を値段を含めてHPで公開することで、制度の周知にもなり、地価の安さも相まって需要があると考えます。購入者がその土地を活用することで賑わいに繋げていけるのではないかと思います。</p>	<p>市長 (まちづくり推進部長)</p>	<p>⑥その他</p>	<p>既存集落まちづくり区域を運用しており、開発等の計画相談があった場合は適切に対応します。</p>
		<p>【質問等】 市長の提案についてはぜひ検討をさせていただきたい。また、蔦田野町としても協議したうえで動いていきたい。工業団地での土地利用は可能だと市長は言っていたが、例えば太田区については、市街化調整区域で圃場整備されていない場所に卵パックの工場が設立された経緯がある。そういった地域を利用することは可能なのか。</p>	<p>市街化区域に隣接しているため可能であるし、利便性も高いと考えます。整備することも可能だと思います。曾我部町穴太の運動公園横に、工業団地の整備計画が進んでいる例もあります。大井ICも近いし工業地域にも隣接しています。地元の意向があるなら大いに可能性がある土地であると思います。</p>	<p>市長 (まちづくり推進部長)</p>	<p>⑥その他</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
3	蔦田野町自治会	<p>市道太田鹿谷線の舗装改修について 市道太田鹿谷線を国道372号線に繋がれたいと考えており、市議会議員の方を中心となって動いていただいている。ここは、当初圃場整備事業の資材搬入道として作られた農道であり、すでに20年ほど経過している。その後市道に格上げしていただき、現在に至っているが、路面の老朽化が著しく、旧齋藤牧場前の舗装が割れて穴が空いたり、いたるところでひび割れが生じているのが現状である。 市道太田鹿谷線の全区間での舗装改修を、年次計画を立てて早急にしていただくようお願いしたい。</p>	<p>市道太田鹿谷線については、老朽化に伴う舗装の劣化及び沈下している箇所が見受けられることから、部分的な舗装修繕、応急的な補修等の対応を行っているところですが、今後については、全区間において舗装改修が必要な状態になってきていることから、今年度実施予定の路面調査及び舗装修繕計画(令和7～11年度の5ヶ年)に基づき、道路メンテナンス補助事業制度、公共施設等適正管理推進事業債(道路)等の国の補助金等を活用するなど、できるだけ早期に全面改修が実施できるよう財源の確保に努めると共に、全区間の舗装改修が完了するまでの間は、道路パトロール等による応急的な補修等を実施し、通行の安全確保に努めたいと考えています。</p>	<p>まちづくり推進部長</p>	<p>③検討</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>

R6 地域こん談会まとめ

4-1	<p>藕田野町自治会</p>	<p>奥条区の「建設残土埋め立て処分場」について (株)京都環境開発の「建設残土埋め立て処分場」操業より2年となる。規模の大きさから京都府の所管ではあるが、この話が出た時に亀岡市に伺って話をし「地元行政として、京都府の立ち入り調査が行われる際には同行して状況の把握等に努めていただきたい。」とお願いしている。この件に関して、「同行調査」が行われたことがあるのかをお伺いしたい。また、今までの京都府の動きも把握しておられることと思うので、併せてお知らせいただきようお願いしたい。なお、地元での対策協議会に於いて行政の動きとして報告したいと思うのでよろしくお願ひしたい。</p>	<p>奥条区の「建設残土埋め立て処分場」については、令和3年9月に京都府の許認可による林地開発行為として許可され、3年ごとに継続許可申請を行い、全体計画として令和12年までの9年間の操業が行われる計画です。 林地開発の進捗については、所管である京都府南丹広域振興局森づくり振興課により令和4年4月26日付で調整池、恒久沈砂池等の主要防災施設設置工事完了の確認が行われており、以後、6か月ごとに施行状況の現地確認を行い、現在に至っています。 本年9月に当初許可より3年が経過することから、令和9年までの第2期の継続許可の申請手続きが進められており、京都府からの法令に基づく意見照会が本市にありました。 本市からは、行為者の株式会社京都環境開発が、地元自治会等と締結している環境保全協定書を順守し、京都府において関係法令に基づく十分な審査及び指導がされるよう意見回答しています。 今後、京都府の事務手続きを経て継続許可について判断される予定と聞いています。</p>	<p>産業観光部長</p>	<p>⑥その他</p>	<p>その後の経過といたしまして、令和6年9月10日付で京都府から有効期間を3年延長する林地開発変更許可が出ています。その後、令和6年9月12日付で林地開発行為に係る区域を拡大する事業計画書が(株)京都環境開発から京都府へ提出されたところです。(8.6295ha→14.9ha) 12月26日開催の京都府森林審議会で承認され今年度中に許可される見込みです。</p>
4-2	<p>藕田野町自治会</p>	<p>奥条区の「建設残土埋め立て処分場」について 京都府の立ち入り調査の際には同行して調査が行われたか、今までの京都府の動きとともに教えてほしい。</p>	<p>京都府土砂条例に基づく確認の状況は、毎月基準に合致した土の搬入を確認しています。 また、発生場所の確認をしています。濁りがあるとの指摘ですが、定期的な水質検査を実施されていると聞いています。市でも定期的に水質検査を行っており、水質に問題はないと確認しています。 京都府との機動班会議では、進捗状況を現在50%程度と聞いていて、防災設備については、適正に機能していると聞いています。 同行調査については行えておりませんが、9月に調査を行うと聞いていますので、同行し皆さんに報告させていただきたいと考えています。</p>	<p>環境先進都市推進部長</p>	<p>①実施</p>	<p>令和6年12月9日に京都府の立ち入り調査に同行し、地元自治会及び奥条区役員に報告しました。</p>
		<p>【質問等】 水質検査等のデータは亀岡市としても共有されているのか。また今後は調査の際に地元役員の同行についても検討いただきたい。</p>	<p>府から亀岡市に水質検査のデータ提出はない状況です。 9月に行われる予定の立ち会い調査については、同行させていただきデータの共有をいたします。 その際、藕田野町の役員の方についても同行いただけるよう調整させていただきます。</p>	<p>環境先進都市推進部長</p>	<p>①実施</p>	<p>令和6年12月9日に京都府の立ち入り調査に同行し、地元自治会及び奥条区役員に報告しました。</p>

R6 地域こん談会まとめ

5	蕨田野町自治会	<p>蕨田野町は少子化、高齢化が進み、町の人口も減少し続けている。そのような中で、当町では令和元年度に移住促進特別区域の指定を、令和2年度に既存集落まちづくり区域の指定を受け、移住者の受け入れ体制を整えてきているが「空き家バンク」への登録がなかなか進まない現状である。</p> <p>亀岡市では補助金制度も用意していただいているがなかなか利用がない。亀岡市では今年度から「空家対策係」を立ち上げられて空き家対策に力を入れようとしているが、今後どのような対策を進めていこうとされているのかお伺いしたい。</p>	<p>本市としても今年度、これまでから建築住宅課が所管している管理に問題のある空き家への対策と併せ、SDGs創生課が昨年度まで所管していた空き家・空き地バンクや、これに関する補助事業を一体的に実施できるよう、建築住宅課に「空家対策係」を新たに設置いたしました。</p> <p>空家対策係を新設したことで、管理に問題があるものの利活用可能な空き家を空き家バンクに繋ぐことや、反対に空き家バンクへ登録を希望されるものの利活用が難しい腐朽・破損等がある空き家に対しては、登録以前に周囲に悪影響が出ないよう所有者において対応いただくようお願いするなど、両課で培ってきたノウハウを相互に発揮できるよう、努めていきたいと考えています。</p> <p>また、法改正に伴い、本市職員だけでは手が回らない特定の業務について、空家等管理活用支援法人を指定することにより補完させることが可能となったため、他市の事例等を研究する中でその活用についても検討を行っていきたいと考えています。</p>	まちづくり推進部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです。
		<p>【質問等】 今後、空き家の調査をして、空き家物件を周知するような取り組みはないのか。せっかく空家対策係が作られたのだからより力を入れて取り組んでほしい。全国的にPRするような取り組みもないのかも併せてお聞きしたい。</p>	<p>蕨田野町で空き家の利活用について、職員を派遣して一度説明会をさせてもらえたらと思います。その中で制度周知を行い、空き家バンクへの登録者増を促していけたらと考えています。また、利用されていない土地については、空き家・空き地バンク等に登録いただけるような説明会もできたらと考えているので、自治会のご協力をお願いします。</p>	市長 (まちづくり推進部長)	③検討	こん談会時の回答のとおりです。

R6 地域こん談会まとめ

6	<p>藕田野町自治会</p>	<p>第二亀岡園への道路の市道化促進について</p> <p>過去に市道化が試みられましたが、未だに実施に至っていない。現在は数か所にひび割れが見られるが、災害時のことを考えると早急に市道化され整備されることが必要と思われる。過去10年間の台風災害時等には一部崩壊があった。崩壊の状況によっては、他に道路がないため第二亀岡園は陸の孤島と化してしまう恐れがある。早急に検討・実施していただきたい。</p>	<p>第二亀岡園へ続く道路の市道認定要望については以前より伺いしているところですが、亀岡市市道認定基準要綱等で定めている市道認定要件である幅員4mを満たしていない箇所があるのに加え、用地整理等も必要であることから現在まで市道認定ができていない状況です。亀岡市として要件を満たしていない段階では市道としてお受けすることは難しい旨ご理解いただきますよう、よろしくお願い致します。</p> <p>そのため、自治会としてはまず準市道の申請をいただきたいと考えています。準市道が認められれば、市が9割負担で拡幅工事ができると考えています。その後基準を満たせば市道にできる可能性もあります。</p>	<p>市長 (まちづくり推進部長)</p>	<p>⑥その他</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
		<p>【質問等】 市道として認定できないのであれば、道路が崩れた際に亀岡市はどう責任を取るのか。</p>	<p>本来の道路整備は地元と市とで5割ずつ負担が本来のかたちです。しかし5割負担だと地元の負担が大きくなってしまいうため、全国でも珍しい準市道制度を本市としては設けています。制度があるのでそちらの活用をまず検討いただきたいと思います。</p>	<p>市長 (まちづくり推進部長)</p>	<p>⑥その他</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
7	<p>藕田野町自治会</p>	<p>奥条区内の道路舗装について</p> <p>奥条区内でアスファルト舗装が陥没した箇所があり、通行しにくい状態となっている。当初、住宅地として造成されていたが、開発業者の倒産により手付かずの状態です。半世紀経っている。現在は私道であり、市としても手が出せない状況と聞いているが、再舗装、或いは修復が必要だと考えている。舗装していただきたいと区民より声が上がっているが、何もできない状況なのか。このままでは益々劣化して危険である。</p>	<p>私道等の認定外道路の修繕に関しては市内一円で要望を聞きしていますが、亀岡市道路整備事業補助金交付要綱を設けており、要綱に基づき自治会等が実施される道路の舗装等の工事に対し一定の補助金を支出し対応しています。地元負担はありますが、当該制度を活用いただき地元での工事実施を検討していただきますようお願い致します。</p>	<p>まちづくり推進部長</p>	<p>⑥その他</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>

R6 地域こん談会まとめ

8	<p>菫田野町自治会</p>	<p>菫田野町の道路整備について</p> <p>①市道湯ノ花温泉線の歩道未設置区間について、昨年度も地域懇談会で進捗状況をお尋ねしたが、その後の進捗状況と今後の見通しについてお伺いしたい。 ②太田鹿谷線を延伸して国道372号に繋ぐことを検討しているが、現在の進捗状況と今後の進め方についてご教示いただきたい。</p>	<p>①平成25年度から事業化した市道湯ノ花温泉線の歩道整備(通学路)については、平成25～28年度にかけて用地買収と工事を実施し、約250m区間の整備が完了しています。 未整備区間については、国道372号に向けて順次工事を進めていけるよう、現在は、事業用地の地権者等と用地交渉を進めています。 今後については、事業用地の取得にご協力いただけたところから、順次、工事を進めていきたいと考えていますので、引き続き地元の皆さまのご理解とご協力をお願いします。なお現在の用地取得率は30%程度です。</p> <p>②府道東掛小林線への車両の迂回路として、市道太田鹿谷線を国道372号まで延伸のご提案については、安全対策として一定の効果が見込まれると考えていますが、新たに事業化するにあたっては事業用地を確保するために地権者の協力が必要であり、また、山内川に架かる橋梁についても道路整備に合わせて架替える必要が見込まれ、多額の事業費や課題整理に時間を要することから、早期に事業化することは難しいと考えています。 一方、府道東掛小林線に係る諸課題については、今年2月に東掛小林線整備促進協議会が発足され、未整備区間の事業化・事業推進の要望活動を展開していただいています。当協議会が要望されている東掛小林線を国道372号に繋ぐバイパス整備については、今回、自治会からご提案いただいている車両の迂回路対策や地域の安全な道路整備に繋がるものと考えていますので、亀岡市としても当該バイパス整備を強く要望していきたいと考えています。</p>	<p>まちづくり推進部長</p>	<p>1:①実施 2:④要望</p>	<p>1:こん談会時の回答のとおりです。 2:11月1日(金)に京都府への要望活動を実施しました。</p>
		<p>【質問等】 菫田野小学校前の市道は、交通量が多くスピードを出す車両も多い。鳥居付近で児童と車両の接触もあったことから、車両の一部区間で通行規制を行ったところだが、鳥居をくぐって小林線に抜ける車が多い。太田鹿谷線を372号に繋げることでこうした車が少なくなるのではないかと考えている。ひとまずは湯ノ花温泉線の歩道整備をして欲しい。整備のめどはたっているのか。</p>	<p>用地買収等があるものについては、すぐに目途をお伝えすることは難しい現状であり、できるだけ早期に進めてきたいと考えています。 地元の地権者の協力なしに工事は進まないため、地元からも地権者に働きかけるなど協力をしてもらうことが必要だと考えています。</p>	<p>市長 (まちづくり推進部長)</p>	<p>①実施</p>	<p>今年度は、佐伯大門周辺の事業用地について境界立会いや用地測量等を行い、事業用地の一部取得を行いました。引き続き用地交渉を継続していきます。</p>
		<p>【質問等】 用地買収が進まない理由として地元の同意が得られていないところがあると思うが、その現状を自治会側には伝えているのか。 現状について情報提供できる範囲で自治会側に提供していただいたほうが、早期の問題解決につながると考えるが所見は。</p>	<p>湯の花温泉線の歩道整備については、周辺の建物にかけてほしくないとの声があり、本線を若干ずらし、反対側の土地を使って行う道路整備に変更した経過があります。ただ、誰が反対したか等の情報については個人情報観点から、自治会側には詳細をお伝えできていないのが現状です。 今後は状況等についてはお伝えできる範囲で情報提供していくことも検討します。</p>	<p>まちづくり推進部長</p>	<p>③検討</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
9	<p>菫田野町自治会</p>	<p>市道砂木原線の路面舗装の改修について</p> <p>市道砂木原線は南桑中学校生徒の通学路であり、多くの生徒が通学している。また、大井町南部の商業施設に買い物に行く車両が多く通行する等のために、穴が空く等、路面の損傷が激しい。早急に路面改修をお願いしたい。</p>	<p>市道砂木原線については、商業施設利用者の交通量が増加しており、たびたび路面の剥離や損傷が見受けられ、応急的な補修等の対応を行っているところです。 今後については、損傷箇所を調査し部分的にはなりますが、舗装修繕を検討していきたいと考えています。</p>	<p>まちづくり推進部長</p>	<p>③検討</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>

R6 地域こん談会まとめ

		<p>【質問等】 一部改修ではなく、全部改修は難しいか。</p>	<p>基本的には状態が悪い箇所からの改修となります。また本市の5カ年計画に乗せることも併せて検討していきたいと思います。 また稗田野町としても、そもそもこの道路を優先すべきなのか、その順位も考えていただきたいと思います。</p>	<p>市長 (まちづくり推進部長)</p>	<p>③検討</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
<p>その他意見等</p>		<p>案件に挙げ切れなかったが、獣害対策についてお聞きしたい。鳥獣対策に計画的に入って頂いていることは承知しているが、鹿・イノシシの被害がとても多い。何か良い対策がないのかと考えているかどうか。</p>	<p>有害鳥獣の農作物被害が出ていることはもちろん承知しております。昨年は市内で640頭近くの鹿を駆除しています。 京都府からどうした対策が取れるのかという集落診断の取り組みも始まっていることから、今後は稗田野町の地域についても活用していきたいと考えています。現在、鳥獣駆除にも使えるドローンも2機配置しており、ICT機器を活用しながら、より被害が減るように今後も調査・研究を続けていきたいと思っています。 現在、駆除した個体を地中埋設していますが、将来的に環境問題になることも懸念しています。今後はこの課題点を解決する取り組みを考えており、例えばジビエ肉としての流通やドッグフードにするなどが考えられます。もちろん、血抜きの方や処理時間の問題など、様々な課題があることから、猟友会だけで対応するには難しいと思います。地元でも、受講の補助制度等を活用しながら、罫猟の資格を取得してもらい、捕獲してジビエとしての活用を図るなどして、より獣害対策に効率よく取り組めるようにしたいと考えています。</p>	<p>市長 (産業観光部長)</p>	<p>①実施</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>